

安心 と平和

希望をもって暮らせる
かすみがうら市に

日本共産党

佐藤ふみお



かすみがうら新聞 2026年10・11月号 発行：日本共産党かすみがうら市委員会
日本共産党の政策と佐藤ふみお市議の活動を紹介します。かすみがうら市稲吉東4-5-18
TEL 029-834-7366 FAX 029-834-7367 e-mail Kasumi_jcp2@ybb.ne.jp

全力を尽くします

高市自維政権は、物価高に苦しむ国民を無視して軍事費を大幅に増額して「戦争できる国」にしようとしています。日本国憲法9条には「二度と戦争はしない」と謳^{うた}っています。9条を生かした平和外交が必要です。防衛よりも防災に予算を廻せ、これが国民の願いです。

地方自治体の本来の目的は「住民の幸せをはかる」ことにあります。国や県いいなりでは住民のいのちと暮らしは守れません。

私は「地方自治体の目的を果たすため、市民のみなさんと力を合わせ、政治は変えられる」を信条に頑張ります。

水道料金の値上げの動きがあります。水道広域化をやめ、地下水を生かし水道会計の健全化を目指します。

これからも「しっかり調査」「きちんと発言」「かならず報告」を議会活動の基本を貫きます。

2026年 秋 日本共産党 佐藤ふみお



佐藤ふみお プロフィール: 1949年 宮城県生まれ/福島大学経済学部卒業/元東京製綱(株)勤務/千代田町議・かすみがうら市議6期/下稲吉東在住/家族 妻



詳しくはこちらから



みなさんと力をあわせ 実現してきました



4年前（前回市議選時）に掲げた公約が大きく前進しました

子育て支援2つのゼロ

高齢者に2つの安心

①今年から小中学校の給食費は無償化に。

①補聴器購入に際し、上限1万円の補助が実現。

②18歳まで国民健康保険税の均等割り税がなくなりました。

②デマンドタクシーの拡充(協同病院やベイシア等に行けるようになりました)。



市政のチェック役

市民の声を届けます

——2026年市民アンケート(日本共産党かすみがうら市後援会実施)に寄せられた声から



物価が高くて困っている。消費税の減税を。

コメ問題は私たちにとって最重要課題です。市場任せではなく、政府は責任をもって取り組むべきです。

イノシシが家の中まで入ってくる。こわい！



公共料金が高過ぎます。軽減をお願いします。

子育て世帯や低所得者への給付金の支給を。



2026年市民要求アンケートの回答から

「この間の暮らし向きはいかがですか？」の問いに8割の方が「きびしくなった」と回答(右上図)。その理由のベスト2(複数回答)が、「物価が上がった」(94.2%)、「税金・公共料金の負担」(48.8%) (右下図)でした。この声に応えるため頑張ります。

佐藤ふみおの“お約束”

- ストップ！水道料金値上げ
- 市街地中心に図書館・交流センターを
- 修学旅行費無償化
- 国民健康保険税引き下げ
- 介護保険料引き下げ
- 迅速な災害対策・害獣対策
- 国・県にもハッキリものをいう**
- 消費税減税
- 東海第二原発は廃炉
- ストップ！戦争する国づくり
- 食料自給率アップを

